

※移行措置に関する教材については、表の最後に示している。指導時期については、適宜設定してお取り扱いいただきたい。

指導時期	単元	教材名	配当 時数	教材目標	学習活動の流れ	評価規準例	現行学習指導 要領との対応 (*)は本教科 書独自の言語活 動例	新学習指導要 領との対応例 (*)は本教科 書独自の言語活 動例
4 月	言葉と出会う 一 言葉で意味づける	ふしぎ／声を出そう 【話す聞く】感想を伝え合おう 【書く】記録をしよう	3 (内、話聞1、書1)	(●『ふしぎ』を読むこととおして、小学校での国語学習を振り返りながら、これからの中学校での学習に向けて、関心をもつ。)	1 どのようなことを「ふしぎ」と捉えているか、考える。読み取ったことを踏まえて、朗読する。 2 自分の体験に照らし合わせて、自分が「ふしぎ」と思うことをグループ内で発表し、話し合う。 3 他のグループの「ふしぎ」を聞き、メモを取る。金子みすゞの『ふしぎ』にならない自分流の「ふしぎ」を書く。	◇国語への関心・意欲・態度 ・小学校での国語学習を振り返りながら、中学校での学習について、関心をもとうとしている。	C (1)ア C (1)オ A (1)オ B (1)ア 伝国(1)イ (イ) ■言語活動例 C (2)ア A (2)イ B (2)イ	思判表C (1)オ 思判表A (1)オ 思判表B (1)ア 知技(1)ウ ■言語活動例 思判表C (2)イ 思判表A (2)イ 思判表B (2)ア
		音を追いかけて	4	●登場人物の心情や行動の変化に着目し、作品の理解を深める。	1 本文を音読し、あらすじを捉える。 2 登場人物の心情に着目し、行動の変化の理由について考える。 3 「自信」という言葉の意味について考える。 4 未来の心情を表していると思われる箇所を本文の中から探し、その効果について話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・作品を音読しながら、登場人物の場面ごとの心情を捉えようとしている。 ◇読む能力 ・「自信」という語句の意味を、作品の文脈において的確に捉え、理解している。 ・主人公の心情を表す表現に注意して読み、主人公の行動の変化を理解している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・中学生の未来を表す語句と小学生の頃の未来を表す語句の違いに気づき、語彙について関心を深めている。	C (1)ア C (1)ウ 伝国(1)イ(ウ) ■言語活動例 C (2)ア	思判表C (1)イ 知技(1)ウ ■言語活動例 思判表C (2)イ
		【書く】体験したことを文章にする	5	●自分の体験を振り返り、随筆を書く。 ●題名を決め、時間の順序にそって、文章を書く。	1 自分の体験をもとに、マッピングを行い、随筆の題名を決める。 2 できごとや考えたことを、付箋やカードなどに書き出し、時間の順序にそって並べる。 3 自分の感想や考えが伝わるように、四百字程度で随筆を書く。 4 書いた文章を推敲する。 5 書いた文章を友達と読み合い、構成について話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・身のまわりのできごとにそって、自分の感想や考えを随筆にまとめようとしている。 ◇書く能力 ・テーマをもとに、自分の体験を振り返って材料を集め、「始め—中—終わり」という構成で時間の順序にそって文章を書いている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・わかりやすい表現を心がけ、適切な語句を選択している。	B (1)ア B (1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 (*)	思判表B (1)ア 思判表B (1)イ 知技(1)ウ ■言語活動例 思判表B (2)ウ
5 月		【話す聞く】お気に入りの一品を紹介する	1	(●自分の思いを表現するために、実物や写真などを用意する。) (●ペアでスピーチを聞	1 「お気に入りの一品」を決め、実物や写真などを用意して、話す内容と項目を考え、ペアでスピーチをし合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・「お気に入りの一品」をわかりやすく説明しようとしている。 ◇話す・聞く能力 ・課題について、話す内容や項目を踏まえて、自分の考えを表現している。	A (1)ア A (1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 A (2)ア	思判表A (1)ア 思判表A (1)イ 知技(1)ウ ■言語活動例 思判表A (2)ア

			き合い、思いを伝え合う。)		◇言語についての知識・理解・技能 ・話し言葉と書き言葉の区別を意識して、聞き手にわかりやすい語句を選択している。		
二 関係を見いだす	笑顔という魔法	5 (内, 話聞 1)	●語句の意味や接続表現・文末表現をおさえ、筆者のものの方や考え方を捉える。 ●「題名」と本文の内容、「問い」と「答え」の関係に着目して文章を読む。	1 全文を通読し、実験結果のどのような点が「意外」だったのか、説明する。 2 「問い」と「答え」の関係を捉え、文章の要旨を捉える。 3 接続表現と文末表現に着目してそれぞれの効果について話し合う。 4 似たような意味の語句の使い分けを確かめ、筆者は「笑顔」がどのような点で「魔法」だと言っているのか、話し合う。 5 「笑顔」や日常生活の中で思い出されることの「効力」について話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・実験の内容や結果を参考に、文章の内容を捉えようとしている。 ◇読む能力 ・表現や語句から内容をおさえ、事実と意見を明確に分け、筆者の考えを的確に捉えている。 ・文章の展開に着目して文章を読んでいる。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・「効果・効力」「認識・判断」「説明・解釈」を使い分けしている。 ◇話す・聞く能力 ・本文や自分の経験から材料を集め、相手にわかりやすく説明している。	C (1)ア C (1)イ 伝国(1)イ (ウ) ■言語活動例 C (2)イ	思判表 C (1)ア 知技(1)ウ 知技(2)ア ■言語活動例 思判表 C (2)ア
	【話す聞く】 フリップを用いて報告する	4	●話の構成を考え、フリップを用いて報告する。 ●文末表現に注意して、事実と意見を区別して話す。	1 日常生活の中から話題を決め、報告するためのフリップを用意する。 2 話す側、聞く側の役割を確認し、話し手は、相手の反応を見ながら、事実と意見を区別して話す。 3 前時の学習を振り返り、再度、スピーチを行う。 4 スピーチの感想や、わかりやすい伝え方について話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・「通学路安全マップ」を作り、フリップを用いてわかりやすく説明しようとしている。 ◇話す・聞く能力 ・「通学路安全マップ」などの話題について、事実と意見を区別して説明している。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・話し言葉と書き言葉の区別を意識して、聞き手にわかりやすい語句を選択している。	A (1)ア A (1)イ A (1)ウ 伝国(1)イ (イ) ■言語活動例 A (2)ア	思判表 A (1)ア 思判表 A (1)イ 思判表 A (1)ウ 知技(1)ウ 知技(2)ア ■言語活動例 思判表 A (2)ア
6 月	言葉の小窓 1 日本語の音声	2	●日本語のもつ音の特徴を理解する。	1 「子音」と「母音」の違いや、音の特徴について理解する。 2 「アクセント」「イントネーション」を変化させることによって、どのように意味が変わるのか、またそれによってコミュニケーションにどのような影響が出るのか、考える。	◇国語への関心・意欲・態度 ・日本語の音の特徴を理解しようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・音声のはたらきや仕組みについて関心をもち、日常生活の中での影響について考えている。	伝国(1)イ (ア)	知技(1)ア
	漢字の広場 1 漢字の部首	1	●漢字の部首についての理解を深める。	1 「部首」という概念を理解し、漢字の「部首」を確認したり、「形」から「義」や「音」を類推したりする。	◇国語への関心・意欲・態度 ・漢字の構成の仕方に興味をもち、それについての知識を深めようとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・代表的な部首の種類やそのはたらきについて理解している。	伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)	知技(1)イ
	漢字の練習 1	—	—	—	—	伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)	知技(1)イ

三 世界をひらく	ベンチ	4	●本や文章から必要な情報を集めるための方法を身につける。	1 作品を読み、「ベンチ」の表す状況を捉えて、自分なりの課題をもつ。 2・3 「みちるべ」の説明にそって、情報の集め方を理解する。 4 効果的な表現を考えながら、作品のポップや帯を作成する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・読書とおして、人権や平和について考えていこうとしている。 ◇読む能力 ・読書とおして、必要な情報を集めるための方法を身につけている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・自分の考えを表す短い言葉を作品から選び出している。	C (1)カ 伝国(1)イ (ウ) ■言語活動例 C (2)ウ	思判表C (1)ウ 知技(1)ウ 知技(2)イ 知技(3)オ ■言語活動例 思判表C (2)ウ	
	写真と言葉が生み出す世界 (内, 書1)	4	●写真と文章の関係を考え、読み手に対する効果を考える。	1 詩と写真の組み合わせから、最も合っていると感じるものを選び、その理由について説明する。 2 写真と文章との関係について話し合い、その効果の違いについて話し合う。 3 メディアリテラシーについて理解し、身近なメディアについて話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・写真と文章の関係に関心を持ち、その効果の違いを考えようとしている。 ◇読む能力 ・メディアリテラシーについて理解し、写真と言葉の組み合わせから情報の違いを読み取っている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・文体にそった語句や表現を選択している。	C (1)カ 伝国(1)イ (イ) ■言語活動例 C (2)ウ	思判表C (1)ウ 知技(1)ウ 知技(2)イ 知技(3)オ ■言語活動例 思判表C (2)ウ	
				4 一枚の写真から生まれるさまざまな文章を創作する。	◇書く能力 ・指定された課題にそって、さまざまな種類の文章を書いている。			B (1)ウ
7 月	【書く】 芸術作品の鑑賞文を書く	4	●芸術作品から受けた印象を、鑑賞文にまとめる。 ●根拠を明確にして、文章を書く。	1 全文を通読し、鑑賞文について知る。美術の教科書を用いて、鑑賞の練習をする。教科書P72の作品から一つ選ぶ。 2 芸術作品を鑑賞する際の観点を確認し、前時で選んだ作品を鑑賞する。 3 丁寧に、詳しく書けそうな観点をいくつか絞り、鑑賞文を書く。 4 書いた文章を読み合い、根拠のあげ方について話し合う。自己評価をする。	◇国語への関心・意欲・態度 ・芸術作品について、鑑賞したことを文章にまとめようとしている。 ◇書く能力 ・伝えたい事柄について、根拠を明確にし、文章を書いている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・鑑賞の観点となる語句に注意して、活動の中で生かしている。	B (1)ウ 伝国(1)イ (ウ) ■言語活動例 B (2)ア	思判表B (1)ウ 知技(1)ウ 知技(2)ア ■言語活動例 (*)	
	文法の小密1 言葉の単位 文法 (解説) 1 言葉の単位	2	●文章・段落・文・文節・単語という単位について理解する。	1 言葉がさまざまなまとまりに分かれることを理解する。 2 さまざまな文例のもとに、文や文節、単語にくぎる。	◇国語への関心・意欲・態度 ・言葉の単位について関心を持ち、「確かめよう」に取り組もうとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・言葉が、文章・段落・文・文節・単語などの単位で分けられることを理解している。	伝国(1)イ (エ)	知技(1)エ	
9 月	四 表現に立ち止まる	河童と蛙	1	●場面と人物の対応を捉えて読む。	1 詩の登場人物の役割を捉え、詩の内容を生かすように朗読する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・詩に描かれた情景を豊かに想像し、音読や朗読に生かそうとしている。 ◇読む能力 ・文脈や場面展開をもとに人物や場面の様子を想像している。 ◇言語についての知識・理	C (1)ア C (1)ウ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 C (2)ア	思判表C (1)イ 知技(1)ウ 知技(1)オ ■言語活動例 思判表C (2)イ

					<p>解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反復表現やおノマトペなど、詩の特徴を捉えて朗読の仕方を工夫している。 		
	オツベルと象	7	<ul style="list-style-type: none"> ●作品の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ。 ●語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を音読し、擬声語・擬態語の使われ方の特徴とその効果を考える。 2 「オツベル」と「白象」はどのような人物として描かれているか、会話部分に着目しながらまとめる。 3 「第一日曜」「第二日曜」のできごとと、「第五日曜」のできごとから、共通点と相違点を比べる。 4 「ああ、ありがとう。ほんとに僕は助かったよ。」(P94L7)と、白象が「寂しく笑って」言った理由について発表し合い、文章にまとめる。 5 「第一日曜」「第二日曜」と「第五日曜」では、牛飼いの語り方が変化していることを踏まえ、牛飼いがどのような気持ちでこの物語を語ったのかを考える。 6 『オツベルと象』についてグループごとに感想を述べ合い、交流したうえで、感想文を書く。 7 感想を発表し交流する。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の展開や登場人物に関心をもち、あらすじを捉えようとしている。 <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の構成や展開、表現の特徴に関心をもち、自分の考えをもっている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解している。 	<p>C(1)エ 伝国(1)イ(ア) 伝国(1)イ(イ) 伝国(1)イ(オ)</p> <p>■言語活動例 (*)</p>	<p>思判表C(1)エ 知技(1)ア 知技(1)ウ 知技(1)オ</p> <p>■言語活動例 思判表C(2)イ</p>
	【書く】 行事などの案内文を書く	4	<ul style="list-style-type: none"> ●行事の案内文に必要な内容や構成を理解する。 ●「推敲のポイント」に従って文章を推敲する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 行事の案内の中で伝えたいことを検討して、整理する。 2 伝えたい内容や、案内文の形式などを踏まえて書く。 3 教科書P98の「推敲のポイント」にそって推敲する。 4 案内文を読み合い、相手や目的に合った表現の仕方について考える。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内文に必要な内容や構成を理解して、文章を書こうとしている。 <p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすくわかりやすい文章にしている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内文にふさわしい簡潔に内容を表す語句を選択している。 	<p>B(1)エ 伝国(1)イ(ウ)</p> <p>■言語活動例 B(2)ウ</p>	<p>思判表B(1)エ 知技(1)ウ</p> <p>■言語活動例 思判表B(2)イ</p>
10月	漢字の広場2 画数と活字の字体	1	<ul style="list-style-type: none"> ●画数と活字の字体についての理解を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 実際に文字を書き記すための基準となる「教科書体」の活字に着目し、正確な画数と字形に基づいた文字を書く態度を身につけるとともに、画数をもとに漢和辞典の総画索引や部首索引を使用する方法を練習する。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画数と漢字の字体の関係に注意し、正しい筆づかいを守ろうとしている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活字体の違いによる字形の違いを理解している。 	<p>伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)</p>	<p>知技(1)イ</p>

<p>言葉の小窓2 日本語の文字</p> <p>言葉 (解説) 2 日本語の文字</p>	2	<p>●日本語を書き表す文字の特徴を理解する。</p>	<p>1 教材文を読んで、「平仮名の成立」までを理解する。</p> <p>2 前時で学習したことを復習し、「いろは歌」までを理解する。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・日本語の文字の特徴に興味をもち、知識を深めようとしている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・日常で用いている日本語の文字の歴史を知り、日本語に対する理解を深めている。</p>	<p>伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)</p>	<p>知技(1)イ</p>
<p>古典の扉を開く</p>	3	<p>●登場人物の行動や場面を捉え、作品の理解を深める。</p> <p>●古典にはさまざまな作品があることや、古典の仮名遣いのきまりを知る。</p>	<p>1 全文を通読し、歴史的仮名遣いに注意して川柳を視写したり音読したりして、その内容を想像し、文章にまとめる。</p> <p>2 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを知り、『東海道中膝栗毛』のあらすじを捉え、配役を決めて音読する。</p> <p>3 『東海道中膝栗毛』のおもしろさについて話し合ったあと、「知音」の意味を踏まえて古典のよさについて考える。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・作品のおもしろさや特徴について話し合おうとしている。</p> <p>◇読む能力 ・それぞれの作品のおもしろさや昔の人のものの見方や考え方を捉えている。</p> <p>・さまざまな古典の作品にふれながら、歴史的仮名遣いのきまりを理解している。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・文語の文章の特徴を理解し、古典特有のリズムを味わいながら音読している。</p>	<p>伝国(1)ア (ア) 伝国(1)ア (イ) C(1)ウ ■言語活動例 C(2)ア</p>	<p>知技(3)ア 知技(3)イ 思判表C(1)イ ■言語活動例 思判表C(2)イ</p>
<p>物語の始まり</p>	3	<p>●物語について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解する。</p> <p>●古典の仮名遣いに注意して音読し、物語の内容を捉える。</p>	<p>1 『竹取物語』について知っていることを発表したり、前半部を通読したり音読したりする。</p> <p>2 後半部を通読したり音読したり、歴史的仮名遣いに注意しながら原文をノートに書き写したりする。</p> <p>3 『竹取物語』について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを考える。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・音読などをとおして、古典に興味をもって学習しようとしている。</p> <p>◇読む能力 ・『竹取物語』の概要を理解し、作品のおもしろさについて発言している。</p> <p>・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てている。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・文語の文章の特徴を理解し、古典特有のリズムを味わいながら音読している。</p>	<p>伝国(1)ア (ア) C(1)ウ ■言語活動例 C(2)ア</p>	<p>知技(3)ア 思判表C(1)イ ■言語活動例 思判表C(2)イ</p>
<p>故事成語</p> <p>(内、書1)</p>	3	<p>●いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。</p> <p>●漢文訓読のきまりを理解したり、音読したりして、文章の響きを味わう。</p>	<p>1 「矛盾」の盾と矛を売る人の話でつじつまの合わない点について考え、発表する。</p> <p>2 書き下し文をノートに書き写したり音読したりして漢文訓読のきまりを理解する。</p> <p>3 いろいろな故事成語の意味や由来を調べ、それを使った短い文を書き、発表する。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度 ・漢文や故事成語に興味をもち、音読したり、いろいろな故事成語を使った文章を書こうとしている。</p> <p>◇読む能力 ・「矛盾」をはじめ、他の故事成語についても調べたり、発表したりして、由来や意味を理解している。</p> <p>◇言語についての知識・理解・技能 ・漢文訓読のきまりを理解して、音読している。</p> <p>◇書く能力 ・調べた故事成語を使って短い文章を書いている。</p>	<p>伝国(1)ア (ア) C(1)ウ ■言語活動例 C(2)ア</p> <p>B(1)イ</p>	<p>知技(3)ア 思判表C(1)イ ■言語活動例 思判表C(2)イ</p> <p>思判表B(1)イ</p>

		蜘蛛の糸	3	●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。	1 全文を通読し、物語のあらすじを捉える。 2 『蜘蛛の糸』以外の近代小説を読む。 3 近代小説についての紹介文を書き、意見を交換する。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・代表的な作家とその作品に興味をもち、近代文学を読むようとしている。 ◇ 読む能力 ・近代の物語や小説を読み、作品のあらすじを捉えている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・作品解説の「言葉の装置」(P130 下 20) という表現について考えている。	C (1)カ 伝国 (1) イ (イ) ■言語活動例 C (2)ウ	思判表C (1)ウ 知技(3)オ 知技(1)ウ ■言語活動例 思判表C (2)ウ
		漢字の練習 2	—	—	—	—	伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)	知技(1)イ
11月	六 説明を比べる	文章の構成や表現の特徴を捉えて読む 1 電子レンジの発想	2	●筆者の考えとその根拠に注意して、文章の構成や展開を捉える。 ●筆者の説明の仕方に注意して読み、文章の表現の仕方の工夫を捉える。	1 全文を通読し、文章の構成や展開を捉え、電子レンジの加熱の仕方を図式化して説明する。 2 表現の特徴について話し合い、文章の表現の仕方の工夫を捉え、自分の表現に生かせるところはないか考え、ノートにまとめる。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・筆者の考え方や説明の仕方に関心をもち、図表との関連を考えようとしている。 ◇ 読む能力 ・筆者の考えとその根拠に注意して、文章の構成や展開を捉えている。 ・筆者の説明の仕方に注意して読み、文章の表現の仕方の工夫を捉えている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・語句の文脈上の意味を理解するとともに、比喻を用いた表現の効果について理解している。	C (1)ア C (1)イ 伝国 (1) イ (イ) 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 C (2)イ	思判表C (1)ア 知技(1)ウ 知技(1)オ 知技(2)ア ■言語活動例 思判表C (2)ア
		2 言葉のゆれを考える	3 (内、書1)		1 全文を通読し、筆者が読者に問いかけている文と、その答えにあたる文をそれぞれ抜き出し、それぞれの答えは何を根拠にしているか、探して確認する。 2 グラフから読み取れることを確かめる。また、いろいろな動詞を「……ことができる」を意味する形にする。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・筆者の説明の仕方を捉えながら、「言葉のゆれ」について考えようとしている。 ◇ 読む能力 ・文章の構成や表現の特徴を捉えて読んでいる。 ・文章と図表を照らし合わせながら関連を的確に捉え、内容を理解している。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・身のまわりの言葉の現象について、自分の言語生活との関わりに関心をもっている。	C (1)ア C (1)イ 伝国 (1) イ (ウ) ■言語活動例 C (2)イ	思判表C (1)ア 知技(1)ウ 知技(2)イ ■言語活動例 思判表C (2)ア
				3	3 文末表現の違いと効果を考え、「ら抜き言葉」について、四百字程度で意見文を書く。		◇ 書く能力 ・根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめている。	B (1)ウ

	3	花の形に秘められたふしぎ	5 (内、書1)		<p>1 全文を通読し、花の形にどのようなふしぎが秘められているのかを捉える。</p> <p>2 「グラフ」を使って、花に集まる昆虫の偏りを具体的に説明する。</p> <p>3 筆者はどのように事実と推論を述べているか、文章全体の構成と展開に着目して説明する。</p> <p>4 昆虫と花の形の多様さとの関係について、本文やグラフの数値を用いながら説明する。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章と図表などとの関連を考えながら、筆者の説明の仕方注意到文章を読もうとしている。 <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の考えとその根拠を読み分け、文章の構成や展開とともに表現の特徴を捉えている。 本文章、また、本単元内の三本の説明文について、文章の構成や展開、表現の仕方の特徴を整理している。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 指示語が指し示す文脈における意味を捉えている。 	<p>C (1)ア</p> <p>C (1)イ</p> <p>C (1)エ</p> <p>伝国(1)イ (エ)</p> <p>■言語活動例</p> <p>C (2)イ</p>	<p>思判表C (1)ア</p> <p>思判表C (1)エ</p> <p>知技(1)ウ</p> <p>知技(1)エ</p> <p>知技(2)ア</p> <p>■言語活動例</p> <p>思判表C (2)ア</p>
					<p>5 三つの教材文を比較し、構成・展開・表現に着目し、共通点や相違点をまとめる。</p>	<p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 三つの文章がもつ「構成・展開・表現の特徴」を分類・整理している。 	B (1)イ	思判表B (1)イ
		【話す聞く】	友達のスピーチを聞く	4	<ul style="list-style-type: none"> ●友達のスピーチを聞いて、必要に応じて質問する。 ●自分の考えとの共通点や相違点を整理する。 	<p>1 日常生活の中から話題を決め、スピーチ原稿を考える。</p> <p>2 話す側、聞く側の役割を確認し、聞き手は、観点にそって友達のスピーチを聞き、適宜質問する。</p> <p>3 前時の学習を振り返り、友達のスピーチを聞く。</p> <p>4 よりよい聞き方について、友達と話し合う。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の話題についての報告を聞き、よい聞き方について考えようとしている。 <p>◇話す・聞く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えとの共通点や相違点を考えながら聞いている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 話の内容や構成について、共感や疑問の言葉などを用いて聞いている。 	<p>A (1)エ</p> <p>伝国 (1) イ (ウ)</p> <p>■言語活動例</p> <p>A (2)ア</p>
12月	【書く】	意見文を読み合う	4	<ul style="list-style-type: none"> ●具体例や体験を根拠にして、意見文を書く。 ●互いに読み合い、文章のよさを発見し合う。 	<p>1 教科書P142の『言葉のゆれを考える』を読み、自分の体験も踏まえながら、何について論じられた文章なのかをつかむ。</p> <p>2 自分の立場を決め、「意見—根拠—まとめ」の順で構成を考える。</p> <p>3 構成に注意して、四百字程度で具体例を交えて意見文を書く。</p> <p>4 書いた文章を推敲して、友達と読み合い、よいところなどについて話し合う。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体例や体験に基づいて、意見文を書こうとしている。 <p>◇書く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 書いた文章を互いに読み合い、根拠となる具体例の使い方などについて話し合い、自分の表現の参考にしている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容に即して文末表現を工夫し、文章を書いている。 	<p>B (1)オ</p> <p>伝国 (1) イ (イ)</p> <p>■言語活動例</p> <p>(*)</p>	<p>思判表B (1)オ</p> <p>知技(1)ウ</p> <p>知技(2)ア</p> <p>■言語活動例</p> <p>思判表(2)ア</p>
	漢字の広場3	漢字の音と訓	1	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字の音と訓についての理解を深める。 	<p>1 漢字がそれぞれにもつ「音」と「訓」、二つの読み方の違いに注目させ、その使い分けや留意すべき特質について理解を深め、練習課題を通じて知識の定着を図る。</p>	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の読みに興味をもち、それについての知識を深めようとしている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の音読み・訓読みを漢和辞典で確認している。 	<p>伝国(1)ウ (ア)</p> <p>伝国(1)ウ (イ)</p>	<p>知技(1)イ</p>

		文法の小窓2 文の成分	3	●主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	1 文節と文の成分の関係、主語・述語の関係について理解する。 2 主語・述語以外の文の成分には修飾語・接続語・独立語があることを理解する。 3 並立の関係・補助の関係と連文節について理解する。	◇国語への関心・意欲・態度 ・日常生活の中で用いられているさまざまな文が「文の成分」によって構成されていることに関心をもとうとしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・文の成分の種類と成分どうしの関係について理解している。	内容の取扱い2 (1)イ (2年 伝国 (1)イ(ウ))	内容の取扱い2 (1)ア (2年 知技 (1)オ)
七 発想を広げる 1月		言葉がつなぐ 世界遺産	6 (内, 書 2)	●筆者のものの見方や考え方を捉えるとともに、言葉のはたらきについての自分の考えをまとめる。 ●構成や展開に注意して読み、筆者のものの見方や考え方に迫るために、要約したり要旨を捉えたりする。	1 全文を通読し、筆者が問いかけている文と、その答えにあたる文をそれぞれ抜き出す。 2 日光の社寺の世界遺産としてのすばらしさについて、イコモスの専門家を驚かせた点をまとめる。 3 「修復記録の蓄積」と「世代を超えた技術の伝承」に対して、「言葉」の使われ方、果たす役割についてまとめる。 4 筆者の言葉に対する捉え方について話し合い、題名にこめられた筆者の思いに対する自分の考えをまとめる。	◇国語への関心・意欲・態度 ・筆者のものの見方や考え方、言葉のはたらきに関心もち、自分の考えをまとめようとしている。 ◇読む能力 ・筆者のものの見方や考え方を捉えるとともに、言葉のはたらきについての自分の考えをまとめている。 ・文章の構成や展開に注意して読み、要約したり要旨を捉えたりしている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・語句の文脈上の意味を捉えて、自分の文章に用いている。	C(1)イ C(1)エ C(1)オ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)イ	思判表C(1)ア 思判表C(1)エ 思判表C(1)オ 知技(1)ウ 知技(2)イ ■言語活動例 思判表C(2)ア
		漢字の練習3	—	—	5 本文中で人物の語り「 」の形で引用されていることは、どのような効果をもたらしているかを考える。 6 日々の生活の中で、言葉によって思いが受け継がれていくように感じた体験を文章にまとめる。	◇書く能力 ・課題にそって、日々の中から材料を集め、自分の考えを読み手にわかりやすく書いている。	B(1)ア	思判表B(1)ア
		【書く】 図表を用いて報告する	6	●図表から情報を読み取り、レポートを書く。 ●相手や目的に応じたわかりやすい文章を書く。	1 学校生活の中からテーマを決めて、アンケート調査を行う。 2 アンケート結果を集計して、結果を図表に表す。 3 集めた調査結果を読み取り、書く順序を考える。 4 図表の内容をわかりやすく説明しながら、レポートを書く。 5 内容や表現を推敲する。 6 効果的な図表の使い方について、友達と話し合う。	◇国語への関心・意欲・態度 ・図表を用いた説明の文章を書くようとしている。 ◇書く能力 ・集めた資料を分類し、相手や目的に応じた効果的でわかりやすい構成や表現を考えて、文章を書いている。 ◇言語についての知識・理解・技能 ・テーマにそったアンケート項目を立てている。	B(1)ア B(1)イ B(1)ウ B(1)エ B(1)オ 伝国(1)イ(ウ) ■言語活動例 B(2)イ	思判表B(1)ア 思判表B(1)イ 思判表B(1)ウ 思判表B(1)エ 思判表B(1)オ 知技(1)ウ 知技(2)イ ■言語活動例 思判表B(2)ア

2月 八 考 え を 共 有 す る	四季の詩 1	●それぞれの詩の題材を捉え、描かれたイメージを想像する。	1 それぞれの詩のイメージを想像し、どのような季節感が描かれているか話し合う。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・教材に取り上げられたそれぞれの詩と積極的に向き合っ てイメージ豊かに理解しようとしている。 ◇ 読む能力 ・場面の展開や登場人物の描写に注意して内容を想像している。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・比喩や反復などの表現技法について理解し、その効果を考えている。	C(1)ウ 伝国(1)イ(オ) ■ 言語活動例 C(2)ア	思判表C(1)イ 知技(1)オ ■ 言語活動例 思判表C(2)イ	
	文法の小窓3 単語のいろいろ 文法(解説) 3 単語のいろいろ	3	●自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について理解する。	1 単語が自立語と付属語とに分けられることを理解する。 2 活用のある単語と活用のない単語の区別を理解したうえで、文の中ではたらしきによって十の品詞に分けられることを理解する。 3 品詞分類表によっての品詞分類の全体像を把握し、具体的な文例に即して言葉に分けて考えることの大切さを理解する。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・言葉を細かく分けて考えるということに興味・関心をもとうとしている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・単語を品詞分類するにあたって必要な知識を理解している。	伝国(1)イ(エ)	知技(1)エ
	漢字の練習4	—	—	—	—	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)	知技(1)イ
	漢字の広場4 熟語の構成	1	●熟語の構成の基本的な型を知る。	1 複数の漢字を組み合わせ作り出される言葉を「熟語」と呼ぶことを確認し、身近な例を取り上げ、構成法によって意味や内容が大きく変わること気づかせる。教科書にあげた構成法の各型に関する理解を深める。三文字以上の熟語の構成法についてグループ学習で確認する。日常生活の中から七つの型にあてはまる熟語を探す。	◇ 国語への関心・意欲・態度 ・熟語の構成に興味をもち、さまざまな熟語の構成法を理解しようとしている。 ◇ 言語についての知識・理解・技能 ・熟語の構成法について知識を深めている。	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)	知技(1)イ

		少年の日の思い出	7 (内, 話聞1)	<ul style="list-style-type: none"> ●語り手に着目して作品を読み, 自分のもので見方や考え方を広げる。 ●場面の展開や人物の描写に注意して, 登場人物の心情の変化を捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を通読し, あらすじを捉える。 2 登場人物を抜き出し, それぞれの関係についてノートにまとめる。 3 「僕」と「エーミール」のチョウに対する考え方の違いを捉え, 「エーミール」に対する心情の変化をノートにまとめる。 4 「エーミール」の部屋を訪ねた時の「僕」の心情の変化を捉え, 盗みを犯した理由を考える。 5 「僕」がチョウをこなごなにした理由を話し合う。 6 「考えよう」の課題について話し合いながら, 語り手について考える。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語り手に着目して作品を読み, 自分のもので見方や考え方を広げようとしている。 <p>◇読む能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語り手に着目して作品を読み, 自分のもので見方や考え方を広げている。 ・場面の展開や人物の描写に注意して, 登場人物の心情の変化を捉えている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には, 意味による語句のまとまりがあることに気づいている。 	C (1)ウ C (1)オ 伝国 (1)イ (ウ) ■言語活動例 (*)	思判表C (1)イ 思判表C (1)オ 知技(1)ウ ■言語活動例 思判表C (2)イ
					7 明暗を表す表現が作品に与える効果について話し合う。	◇話す・聞く能力	A (1)オ	思判表A (1)オ
3月		【話す聞く】 アイデアを出して話し合う	4	<ul style="list-style-type: none"> ●グループでアイデアを出して, 話し合う。 ●話題や方向にそった話し合いをする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 日常生活の中から話題を決め, 話し合うための準備をする。 2 「話すこと」「聞くこと」の既習事項や, 話し合いのあり方を確認し, 自分の考えをもつ。 3 役割を決めて, 話題や方向にそった話し合いをする。 4 記録した音声や動画などを確認して, 改善すべき点などを話し合う。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中の話題について, アイデアを出して話し合おうとしている。 <p>◇話す・聞く能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題や方向にそって話したり, 相手の発言を注意して聞いたりして, 自分の考えをまとめている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題や方向にそった話し合いができるように, 指示語や接続語について意識しながら, 話し合いを進めている。 	A (1)オ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 A (2)イ	思判表A (1)オ 知技(1)イ (オ) ■言語活動例 思判表A (2)イ
	平成31・32年度	漢字の練習	—	—	1 都道府県名に関する漢字「茨, 媛, 岡, 潟, 岐, 熊, 香, 佐, 埼, 崎, 滋, 鹿, 縄, 井, 沖, 栃, 奈, 梨, 阪, 阜」20字の読みや書きに習熟する。 (「漢字の練習4」に関連)	—	伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)	知技(1)イ 知技(1)イ (小学校第3学年及び第4学 知技(1)エ)
移行措置	平成32年度	言葉 方言と共通語	2	●方言と共通語の特徴について知る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 小学校の学習を振り返るなどして気づいたことを話し合い, 方言と共通語について理解を深める。 2 第1時を踏まえ, 新しい方言や社会方言について知る。方言と共通語の使い分けについて考え, 自分たちの言語生活を振り返る。 	<p>◇国語への関心・意欲・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通語と方言の特徴を踏まえ, すすんで課題に取り組もうとしている。 <p>◇言語についての知識・理解・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通語と方言の果たす役割について理解している。 	(2年 伝国 (1)イ (ア))	知技(3)ウ

時数合計 116 時間 (内, 話すこと・聞くこと 16 時間, 書くこと 30 時間)

※本表中、「漢字の練習」の時数や学習活動などについては、適宜扱う。

※本表中、「教材目標」欄に（ ）で示してあるものは、教科書では目標として示していないが、想定される目標として設定したものである。

※本表に記載のない教材（「四季のたより」「本の世界へ」「言葉と仕事」「ことばの散歩道」「言葉の自習室」）については、適宜扱う。